

令和7年4月21日

日本学術振興会協力会 御中

R041 委員会

令和6年度 事業実施報告書

このことについて、下記のとおり事業を行いましたので報告をいたします。

【実施した事業内容】

令和6年度は、第7回～第10回の研究会を実施し、次年度国際ワークショップ開催準備を行い、デジタル化による情報共有を開始した。

研究会：

第7回研究会（6月28日／TOPPAN ホールディングス 小石川本社）

企業紹介および施設見学を行い、同社の研究開発の取り組み紹介に加え、学界から3名の講師による講演を実施した。

第8回研究会（9月9日／関西大学 梅田キャンパス）

学界講師3名による講演に加え、産業界から1社が開発および実用化に関する報告を行った。

第9回研究会（12月4日／京都大学 東京オフィス）

学界講師3名および委員会から1名による講演を行った。

第10回研究会（令和7年3月10日／京都テルサ 東館2F 第9会議室）

学界講師4名による講演を実施した。

これらの研究会を通じて、産学連携の基盤となる最先端の研究情報を共有するとともに、分野横断的な議論の活性化および委員会内の交流促進を図った。

国際ワークショップ：

国際的な研究動向の把握のため、令和7年4月17日～18日に国際ワークショップを開催することを幹事・運営委員にて協議の上、委員会総会にて決定した。国内外からの招待講演者については、委員を対象としたアンケート結果をもとに選定を行い、招へいの手続きを開始した。さらに会場およびオンライン配信の準備を進めた。

デジタル化：

委員にとっての利便性向上および委員間における継続的な情報共有を目的として、クラウドストレージ（BOX）を活用した資料共有を新たに開始した。